



## 大分県広域景観シンポジウムを開催しました



大分県では、令和6年10月26日（土）に、大分県広域景観シンポジウムを開催しました。コーディネーターとして、大分大学理工学部理工学科建築学プログラムの姫野准教授をお招きし、日豊海岸エリア周辺でそれぞれの団体が行っている活動が、どのように「景観」と結びついているのかを紐解いていただき、広域景観の保全・形成の重要性を考える機会となりました。

## 「くらしを豊かにする取組みと景観まちづくり」



早瀬 康信氏((株)テイクファイブ 代表取締役会長)

まず、大分県より、広域景観の保全・形成指針について説明を行いました。

その後、日豊海岸エリアで地域づくりに貢献されているパネリストの方々に活動事例発表を行いました。



中野 重二氏((一社)臼杵市観光協会 理事)



今村 祐美氏(喫茶チパータ 店主)



廣瀬 克樹氏((株)マツオカ 常務取締役)



活動事例発表の後には、姫野准教授にコーディネーターを務めていただき、パネルディスカッションを行いました。パネリストの方々のお気に入りの景観の写真を紹介していただき、そこから日豊海岸エリアでどのような取り組みが行われているのかについて知ることができました。



# まちづくり事業について紹介します

## 荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業(R4～R5)

本地区は、大分駅周辺に位置し、都市再生整備計画事業（平成17年度～令和元年度）による事業の結果、地区内居住人口の増加や生活利便施設の整備、まちづくりイベントの開催等、中心市街地の活性化に向けた動きが加速化している状況にあります。

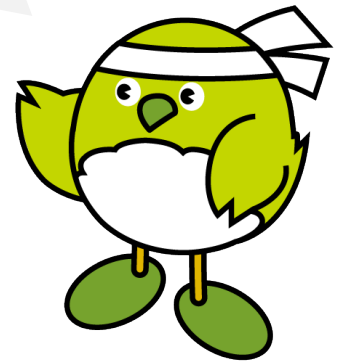
平成29年3月に閉校した荷揚町小学校の跡地については、子どもの遊び場や地区公民館等の整備により、中心市街地の活性化やにぎわいづくりなどを地域住民から望まれており、これらに加え、頻発する近年の大規模災害に対応するための防災機能強化・集積など、大規模公有地の利活用を図ることを目的として整備されました。

## 外観

町並みとして連続するアートプラザや既存庁舎の外観要素や色彩を効果的に採り入れ、城址公園を含めた一体的な景観を形成しています。



施設と市役所の庁舎を結ぶ連絡通路も整備されています。



## 府内こどもルーム



木のぬくもりあふれるこどもルームには園庭もあり、親子が気軽に来て遊べる場所です。ランチコーナーも新設されました。

## エントランス



解放感のあるエントランスにはベンチやテーブルが設置されており、憩いの場所となっています。

## 中高生の学習スペース

中高生のためのフリースペースです。



## 外構・歩道



車両同線と交差しない安全な歩行空間として整備され、植栽による緑あふれる明るい空間となっています。